　　経管栄養（胃ろう：液体・半固形）

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | （　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施内容 | 経管栄養（胃ろう：液体栄養剤　　ml～　　ml・または半固形栄養剤　　g） | |
| 実施手順 | | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。  液体栄養剤（　　ml～　　ml）、または半固形栄養剤（　　ｇ）  薬　白湯　お湯　イルリガートル　イルリガートル用スタンド  カテーテルチップ型シリンジ〔注射器〕（以下、シリンジという）  容器（半固形）　接続チューブ　延長チューブ　哺乳瓶  乳鉢　温度計　姿勢保持に必要なもの　手指消毒剤 | |
| 準　備 | 1. 必要物品、液体栄養剤・半固形栄養剤、薬の確認をする。 2. 手を洗う。（石けん、あるいは手指消毒剤） 3. 薬の準備をする。   ・乳鉢に薬を入れ、すりつぶす。  ・白湯（　）mlを入れて混ぜる。  ・シリンジに入れる。（吸い上げる）   1. 栄養剤の準備をする。   ＜液体栄養剤＞  ・液体栄養剤（　）mlを人肌に温める。  ・イルリガートルのクレンメが閉じていること  　を確認し、液体栄養剤をイルリガートルに入  れる。  ・イルリガートルの先端を哺乳瓶に入れ、クレ  ンメを開放し、先端まで液体栄養剤を満たす。  満たしたらクレンメを閉じておく。  ＜半固形栄養剤＞  ・袋ごと十分に揉み解す。  ・常温か人肌に温める。  ・半固形栄養剤を容器に入れる。   1. 体調の確認とポジショニング   ・喘鳴の有無を見て、体調の確認をする。  ・体調や状況に応じた体位で行う。 | ・薬剤、栄養剤が本人のものである  ことを確認する。（主治医から指  示された内容）  ・服薬は、依頼があった場合は看護  師が実施する。  ・再度、薬が本人のものか、薬品名、  投与時間、量、投与方法の確認を  する。  ・乳鉢は、熱湯で消毒して使用する。  ・体調により、抗生物質などを加え  　る場合は、よくすりつぶして、混  　ぜるようにする。  ・シリンジは消毒後、水洗いをして  おく。  ・液体栄養剤は、イルリガートを使  　用する。  ・延長チューブがある場合は、栄養  　チューブの先につなげて使用す  　る。  ・半固形栄養剤は、容器とシリンジ  　を使用する。  ・半固形栄養剤の温度は、保護者の  指示と適用上の指示により決め  る。  ・喘鳴がある時は、吸引して落ち着  かせる。  ・喘鳴が強い時は、頭を高くした側  ※胃ろうボタンと接続チューブを接続および外すときは看護師が立ち合い確認する  臥位にする  ・胃ろう部に使用しているガーゼの  　汚れや内容物の汚れを確認する。  ・胃ろうや胃ろう周囲の皮膚に、も  れ、発赤、ただれ等がないか確認  する。 |
| 実　施 | 1. 服薬   ・接続チューブのクレンメを閉めてから、胃ろ  　うボタンに接続チューブの先端を差込み、止  まるところまで回転させる。  ・用意した薬剤が入っているシリンジを接続チ  　ューブにつなぎ、薬剤を注入する。  ※服薬については、主治医の指示で変わることがあるので注意する。   1. 栄養摂取   ＜液体栄養剤＞  ・接続チューブにイルリガートルの先端を接続  する。  ・開始を本人に伝える。  ・クレンメを開放し、敵数を合わせる。 （△秒に△敵）  ・（　）分（時間）程度で終了できるようにする。  ＜半固形栄養体＞  ・半固形用の接続チューブを接続する。  ・開始を本人に伝える。  ・容器からシリンジに数回に分けて吸い、（　）  　分で注入する。   1. 摂取後の対応   ・終了したら、白湯（　）mlを流し、胃の内容  物がもれないよう接続チューブを外し、胃ろ  うボタンのふたを閉める。  ・摂取後は、（　）分間、安静にする。 | ・服薬は、注入前に再度本人のもの  であることを確認する。  ・薬注入時は、薬剤が詰まらないよ  シリンジとチューブを押さえ、  攪拌しながら注入する。薬が増え  た場合は特に注意する。  ・滴数があっているか、時々確認し、  　合わせる。  ・発作や咳込みがあった場合は、ク  レンメを閉じて状態を確認する。  ・状態が落ち着いたら、栄養摂取を  　再開する。  ・嘔吐があった場合は、直ちに栄養  摂取を中止し、保護者に連絡す  る。  ・適宜、シリンジの先端の栄養剤を  　ティッシュで拭き取る。  ・半固形栄養剤が漏れ出さないよう  　に、接続チューブの先端を押さえ  ながら注入する。  ・内容物が流れ出た場合は、胃ろう  部分のガーゼを交換する。  ・必要に応じて、保護者が準備した  　軟膏（薬）を塗る。 |
| 終　了 | 1. 片付け   ・イルリガートル、シリンジなどを水で洗う。  ・保護者に報告する。（連絡帳に記入する） | ・注入終了後も呼吸、嘔気嘔吐に注  意する。 |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けそうになった場合 | ・看護師に報告する。 | ・看護師がガーゼ等で胃ろう部を保  　護し、保護者へ連絡する。 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けた場合 | ・看護師に報告する。  ・ガーゼ等でろう孔を保護す  る。 | ・保護者へ連絡する。  ・外れた胃ろうボタンは、病院受診  　の時に持っていくため、ガーゼで  　包んで清潔を保つ。   * 病院　　医師を受診する。 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者氏名 | （母）  （父） | －　　　　－  －　　　　－ |
| 主治医 | 病院（小児科）　　　　　　　Dr | －　　　　－ |
| 救急搬送 |  | |
| その他 |  | |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）